

東光まちづくり推進協議会 会議録 令和 5 年度 第 3 回

会議概要	
日時	令和 6 年 3 月 21 日（木曜日） 午後 6 時 30 分から午後 8 時 20 分まで
場所	東地区体育センター 1 階 会議室
出席者	委員（17 名，正副会長以外は 50 音順） 原田会長，森副会長，五十嵐（巨）委員，兼松委員，北野委員，國岡委員 幸田委員，澤田委員，高橋委員，中島委員，中村委員，仁田委員，本間委員 松原委員，本松委員 （欠席 五十嵐（真）委員，大城委員，佐々木委員，玉田委員，中山委員） オブザーバー 堀川 地域まるごと支援員 事務局 地域活動推進課 谷口補佐 東部まちづくりセンター 鈴木所長，道下主査，武田主査 その他 東光公民館 田丸館長
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0 名
会議資料	次第
	資料 1 東光まちづくり推進プログラム
	資料 2 令和 5 年度 東光地域における補助金・負担金各事業の実施状況
	資料 3 令和 6 年度東光地域活動計画

会議の結果内容

1 開会

事務局から、欠席委員報告，その他出席者及び配付資料確認があった。

2 検討事項

東光まちづくりの推進プログラムについて

第2回の東光まちづくり推進協議会で出された意見を基に作成した、資料1「東光まちづくり推進プログラム」について事務局から説明があった。発言概要は次のとおり。

- 「教育、文化、スポーツの振興」の中で「和の文化の継承、及び欧米の言語との融合」について【委員】

・地域の中で全く存じていない中、東光まちづくり推進プログラムの課題としてあげられ、1事業として活動していくことになるのか。

【事務局】

前回会議で話題となり、まち協委員の皆様から異論もなく、応援したい旨の集約となったため、プログラムへの掲載となった。周知が行き届いていないことが事実であれば、事務局の配慮不足があったのでお詫びする。今後は、説明や段階を踏んだ進め方をしたい。

プログラムへの掲載については、まち協委員の皆様の承認を得られれば、プログラムに掲載し、補助金を受けるべく事業となるもの。

【委員】

補助金をもらうためにやっているのではと見えてしまうので、誤解を招かないよう地域の市民委員会等に相談をしてからの実施が望ましい。

【事務局】

今後同様の事態があった場合は、地域への説明・相談等の配慮をしながら掲載を進めていきたい。

【会長】

令和6年度の事業としては、掲載の可否は？

【委員】

掲載に問題はない。ただ、営利に補助金を活用するのではないかという誤解を招く可能性がある。

【事務局】

補助金の使い方や言動については、しっかり区別するよう注意を促す。

【委員】

地域住民の対応を地域の中で行うのは問題ない。現状でも行っている。

※令和6年度プログラムへの掲載及び事業実施は可能だが、地域の調整は必要。

- 「盆踊りなどの伝統文化の継承（全域）」の「盆踊り大会の開催」について

【委員】

盆踊りの開催について、東光南地区は開催していないので、削除。

※上記のとおり削除することになった。

●防災対策について

【委員】

- ・豊岡，東光，啓明で災害時に自力で逃げられない人を，地域で手を差し伸べていこうという動きが今でており，要支援者のリストアップ，本人の承諾を得る取組を実施している。
- ・旭川市社会福祉協議会のプログラムにも掲載していると思われるので補助金等を受けるには整理が必要では。

【事務局】

- ・病院と地区社協との話合いの中で始まったものであり，要支援者の名簿整備を随時整理し続けるというような取組を豊岡の地区社協の取組として豊岡まちづくり推進プログラムに掲載している。
 - ・補助金を受ける受けないにかかわらずプログラムは地域の活動や取組を情報共有するものなので掲載は可能。
- ※委員との調整後，掲載することになった。

令和5年度東光地域における補助金・負担金各事業の実施状況について

事務局から，資料2のとおり令和5年度の東光地域における補助金・負担金各事業の現時点での実施状況をまとめた旨の報告があった。また，スライドを使って今年度の各事業の活動内容の振り返りを行った。発言は次のとおり。

～～スライド～～

【委員】こども・みらい事業について説明

- ・ごごべんの時間帯に3月23日に「考えよう！スマホ！」子どものインターネット講習をする予定。昨年度まで開催してきたDVDを使用し自分が講師となって講習をする予定である。

【事務局】とうこう新聞について

- ・2月15日発行日で，3，000部印刷，配布先として，町内会回覧を実施。公共施設やスーパー等にも配置。

令和6年度東光地域活動計画について

資料3 「令和6年度東光地域活動計画（案）」について，昨年度からの変更点を主に事務局から説明があった。発言は次のとおり。

【委員】TOKO ボッチャ CUP について

令和5年度実施した「TOKO ボッチャ CUP」に参加した小学生に声をかけ，令和6年度実行委員会に参加してもらい企画・実施を行ってもらう予定である。地域の子ども達の意見を大事にし

ていきたい。

【委員】東光消防団活性化実行委員会について

令和5年度は高校生とともに、消防団の周知と地域防災意識の向上のため、自主防消火栓の使い方や地域防災について学んだが、令和6年度は、AEDの使い方などを題材に大学生をターゲットに講習等を実施し、地域防災や消防団について知ってもらいたい。

3 その他

1 組織の在り方に関するご意見の聞き取りについて

地域活動推進課の谷口補佐から挨拶後、事務局からスライドを用いて説明があった。その後の意見聴取の発言概要は次のとおり。

【委員】

- ・各組織の活動についても停滞気味であり、各組織が機能して、どうしても市民委員会でとりいれられないことをまち協で実施していくといった取組がよいと思う。
- ・住民活動の中心は町内会の集合である市民委員会である。今回の説明においては、また一つ地域団体を増やし、まちづくりを地域に丸投げしているように感じられる。自分の地域においても、市民委員会や地区社協、民事協などで、様々な事業を行っているが、全ての事業を見直し、事業をスリム化していくことが必要と考える。そういったことを整理していかなければ、まち協の整備についても考えられない。
- ・地域運営は理想であるが、現実的に可能かどうか、町内会や市民委員会会長など、様々な役職を担いながら活動していて、仕事も持ちながら、活動しているのが現状。実質的に今の委員の皆様の方でできる現状ではないと考える。

2 令和5年度謝礼について

事務局から令和5年度謝礼について出席回数に応じて4月中旬から5月上旬にお支払いする旨事務連絡があった。

3 委員改選について

事務局から委員改選の御協力について連絡があった。

4 閉会